

春になると・・・

ファイナンシャル・プランナー 菊池 昭仁

3月になりました。春ですね。だんだん暖かくなってきて、晴れた日には仕事を放り出して散歩をしたくなります。公園でお弁当を食べて昼寝なんていいですね。ちょっとした山へのハイキングなんか、運動不足解消にもってこいです。

ですが、春になるのがゆううつで仕方がないという方もいらっしゃるかもしれません。そうです。スギ花粉症の季節です。

今年関東では2月下旬ごろから飛び始めているようです。なんでも今年の飛散量はかなり多らしく、スギ花粉症の方が爆発的に増えるのではとも言われています。私は今のところありませんが、今年は発症するかもしれません。

さて、スギ花粉症の対策ですが、スギ花粉症の薬として売っているOTC薬（処方せんなしで買える薬）もあるので、医師の診察を受けずにご自分で治療されている方も多いと思います。医師の診察を受ける時間がない、この季節には耳鼻科が混んでいるので行きたくない、自分に合ったOTC薬がある等理由は人それぞれあると思います。

では薬代はOTC薬と医師が処方する薬（処方薬）で、どう違うのでしょうか。計算してみましょう。

まずOTC薬です。スギ花粉症の主な症状がくしゃみ、鼻水ですので、鼻炎用として売っている薬を取り上げます。

A : (1,199 円/20 カプセル入り) × 1 回 1 カプセル × 1 日 2 回 × 30 日分 = 3,597 円

B : (1,550 円/20 カプセル入り) × 1 回 2 カプセル × 1 日 2 回 × 30 日分 = 9,300 円

C : (2,000 円/20 カプセル入り) × 1 回 1 カプセル × 1 日 2 回 × 30 日分 = 6,000 円

D : (1,450 円/20 カプセル入り) × 1 回 2 カプセル × 1 日 2 回 × 30 日分 = 8,700 円

E : (1,050 円/24 カプセル入り) × 1 回 2 カプセル × 1 日 2 回 × 30 日分 = 5,250 円

F : (1,200 円/20 カプセル入り) × 1 回 1 カプセル × 1 日 3 回 × 30 日分 = 5,400 円

コラムの無断転写・転載などを禁じます。 -

Copyright © 2011 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.

続いて処方薬です。今回は次の条件で計算しました。

- 近所の耳鼻科（診療所）を受診。費用が発生する検査や処置はなし。処方された薬は1種類のみで30日分。
- 院外処方せんを持って行った薬局は、大きな病院の前にある、患者さんの多そうな薬局。

支払先	費目	保険点数	自己負担（3割）
診療所	初診料	270点	
	処方せん料	68点	
	計	338点	1,010円
薬局	調剤基本料	24点	
	調剤基本料	24点	
	基準調剤加算1	10点	
	後発医薬品調剤体制加算1	6点	
	調剤料	81点	
	薬剤料	390点	
	薬剤服用歴管理指導料	30点	
	薬剤情報提供料	15点	
	計	580点	1,740円

いかがでしょうか。実はOTC薬のCと、今回処方薬とした薬は同じ成分の薬です。この薬がスギ花粉症の標準ということではありませんが、比較しやすいよう同じ成分の薬を例に挙げました。

スギ花粉症は医師による治療でも症状を抑える対症療法が中心です。また人により合う薬と合わない薬がありますので、医師は患者さんそれぞれに合わせて薬を処方します。

こういった事情から、より自分にあった治療をするためには医療機関を受診することが一番です。医療機関では症状や体質によって、薬以外の治療法を選択できる可能性もあります。スギ花粉症の方でまだ医療機関を受診したことがない方は、ぜひ一度医療機関を受診してみてください。